

| | | | |
|------|---|------|-------------|
| 受付番号 | 8 | 受付月日 | 8月15日 |
| | | | 午前・午後10時15分 |

東郷町議会議長 加藤 啓二 殿

東郷町議会議員

議席番号：15番 氏名 星野 靖江 ㊟

一 般 質 問 通 告 書

東郷町議会会議規則第59条第2項の規定により、次の事項について質問したいので通告します。

記

No. 2 - 1

| 質問事項 | 質問要旨 | 答弁者 |
|--------------------------------|---|------------|
| 1：シニア世代の働く場づくり & 生きがいの場づくりについて | <p>長寿高齢社会を迎えた今、将来ビジョンのひとつとして、シニア世代が主役となる働く場（仕事）づくりは重要な課題と思います。</p> <p>さらに、シニア世代の経験を生かした能力資源の活用によって「まちの活力源」と考えられますが、就労の現状は希望者が65歳以上まで働ける会社は48.8%、70歳以上では18.3%、とのデータもあります。</p> <p>(1) シニア世代の増加により、具体的な取組みが求められていますが、新たな事業推進の観点からお尋ねします。</p> <p>① 高齢者ワークプラザ・シルバー人材センター登録会員数と主な就労状況は。</p> <p>② さらになる高齢社会を迎えた今、シニア世代の多種・多様なライフスタイルに応じた生活環境の受け皿が求められます。ところで、まちの拠点「セントラル開発」構想が具体的になりました。そこで、シルバー人材センターの雇用促進の機会を得るために、事前協議ができるような情報提供は。</p> <p>(2) モノの見方や考え方が多様化・多元化され、ある程度の財政基盤がなければ、計画的に物事を進めることが難しい時代となりました。生涯現役を願う“シニア世代”の地域貢献や生きがいの場づくりについてお尋ねします。</p> | 町長 担当部長 |

(注) 要旨は、具体的に記載すること。

| 質問事項 | 質問要旨 | 答弁者 |
|-------------------------------|--|---------------------|
| <p>2：押草団地内の空き家対策と将来計画について</p> | <p>①シルバー人材センターは来年度30周年を迎えます。新たな「夢プラン」の考えは。</p> <p>②想定される事業計画は。</p> <p>③より安定した事業運営の推進を図るには持続可能な財源確保が必要不可欠です。当局は受け皿となるシルバー人材センターに対する主な支援策の現状は。</p> <p>④支援策に対する今後の考えは。</p> <p>公共サービスの物差しが変化し、物件選びより街選びの時代とも言われ、行政サービスが目指すまちづくりの特性を「子育てしやすいまち、そして、高齢者が住みやすいまち」とあります。</p> <p>その一方で、個人も法人も住み良い地域・暮らしやすい場所を見つけて移転していますが、近郊市の人口は本町も含めて、微増しています。</p> <p>まちづくりの観点から、押草団地内高層マンションに対する見解をお尋ねします。</p> <p>(1) 東郷の高台に高層マンションが築造され約35年経ちました。当時は“豊かな自然環境に恵まれた住宅のまち”として人気の物件でしたが、時代と共に変化しています。</p> <p>かつての土地にもう一度、行政の聴診器があてられるよう、公団住宅の住環境整備についてお尋ねします。</p> <p>①空き家数の現況は。</p> <p>②高齢者世帯数の推移は。</p> <p>(2) 地域の対話や人間的な信頼感を協議し合えるコミュニケーションテーブルの確保は具体策を見出す一つの手法と考え、お尋ねします。</p> <p>①住み続けられる具体策として「イノベーション（新考案）」を引き出すための調査研究に対する見解は。</p> <p>②「住み続けたいまち」として、町民参加型のコミュニケーションテーブルを設置し、意向調査の実施は。</p> | <p>町 長 担当部長</p> |

(注) 要旨は、具体的に記載すること。